

デジタル人材養成講座

SNS運用実践コース

基礎理解からショート動画運用まで



そのコミュニケーションに最適解を。

NIPPON AGENCY

集客に役立つSNS運用 どうしたらいいの？



「なんとなく運用」で
成果が出ない



担当者が変われば
運用が終わってしまう



「やりっぱなし」で
改善の根拠がない

担当者の感覚に頼った運用は、持続可能な企業の「資産」になりません。

本講座で得られる4つの成果

01

新規獲得

「ショート動画」で
新規顧客に届く



02

再現性

「なんとなく」を
卒業し、再現性のある
集客チャネルへ

03

経費削減

外注費ゼロ。
社内リソースだけで
高品質な発信

04

データ改善

数字に基づいた
論理的な改善ができる

「なぜ伸びたのか？」を論理的に判断するスキル



再生数や反応率を分析するスキルを身につけることで、「次はどうすべきか？」を論理的に判断し、成果を右肩上がりに高めていくことができるようになります。

目指すのは「外注費ゼロ」の社内完結

Before



外注費

ノウハウが蓄積されない

After



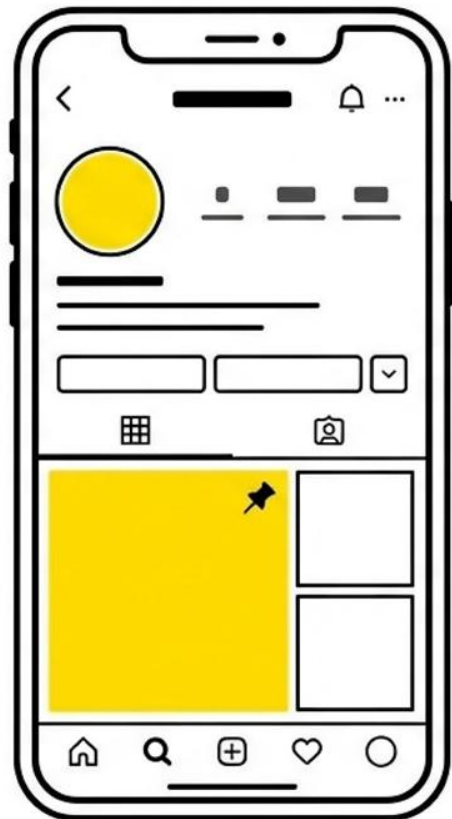
社内完結・資産化

3日間で完結。実践型カリキュラム



明日からすぐに社内リソースだけでクオリティの高い発信ができるようになります。

【1日目】 SNSの基本理解とアカウント設計



1. SNSの基本構造と役割理解

↳ アルゴリズムの考え方 / 企業活用のポイント

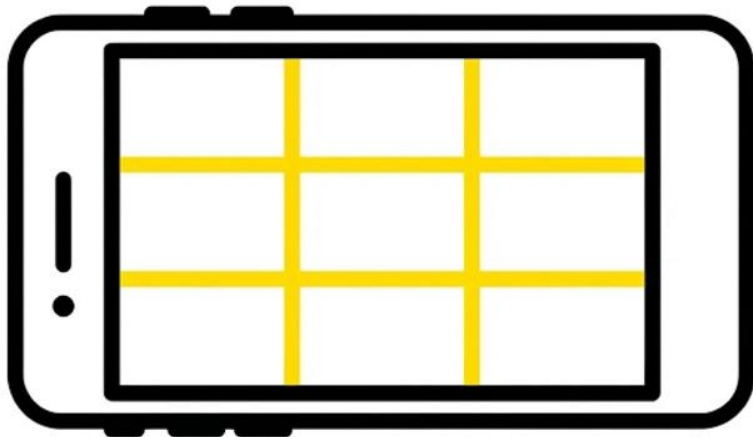
2. プロフィール設計・改善

↳ 誰に・何を届けるアカウントかを明確化

3. ピン留め投稿の企画・まとめ

↳ 初見ユーザーに伝えるべき情報整理

【2日目】ショート動画の企画と撮影実践



1. 企画立案

構成・フック・伝え方の基本

2. 撮影の基礎

構図・画角・撮影時の注意点

▶ 3. 撮影実践

スマホ撮影のコツを実習形式で習得

4. フィードバック

各自撮影 → フィードバック

【3日目】ショート動画の編集・投稿運用



1. 編集の実践

編集アプリの操作、カット・テロップ・テンポ調整

2. 投稿のポイント

キャプション／投稿時間／ハッシュタグ

3. 分析と改善

インサイトの見方・次につなげる考え方

講師紹介

kanazawa_spot_becory  ...

べこりい | 北陸おでかけスポット (石川・富山・福井)

投稿276件 フォロワー5.2万人 フォロー中424人

\ここ行きたい!! がみつかる ✨ /

○ 金沢から北陸の『わくわくスポット』発信中 😊

○ 非日常体験・グルメ・イベント 🚗

○ 北陸No1インフルエンサー目指す男 🙌

SNS 7.5万人

お仕事はDMにて 📩

📍 地域×SNSサロン運営 🧑

@becory_sns_

📞 kanazawa_spot_becory

kanazawa_spot_becory べこりい

- SNSフォロワー **7.5万人**
- 北陸No.1インフルエンサー目指す男
- 地域×SNSサロン運営



金沢会場での開催概要

料金	1名につき30万円（税別）
開催日時	8/28（金）13：00～17：00 9/11（金）13：00～17：00 9/30（水）13：00～17：00
開催会場	日本エージェンシー金沢本社セミナールーム
学習時間	12時間（4時間×3日間）
定員	30名
申込締切	7/21（火） ※助成金申請する場合は開催1ヶ月前までに 労働局への申請が必要です。



★個別企業での開催も可能です★

料金：1名につき30万円（税別）

開催条件：参加人数5名以上から

日時・場所：応相談

※北陸3県以外で開催する場合は、
交通費と宿泊費が別途かかります

助成金活用で受講料が最大75%軽減

厚生労働省「人材開発支援助成金（事業展開等リスクリング支援コース）」活用

~~通常価格 300,000円~~

助成金活用



- ・経費助成 225,000円 支給
- ・賃金助成 12,000円 支給

実質負担 約 63,000円／名

- ・本研修は助成金の受給を確約したものではありません。
- ・講座開催日の1ヶ月前までに地元労働局への申請が必要です。
- ・助成金の受給有無について、当社は責任を負いかねます。

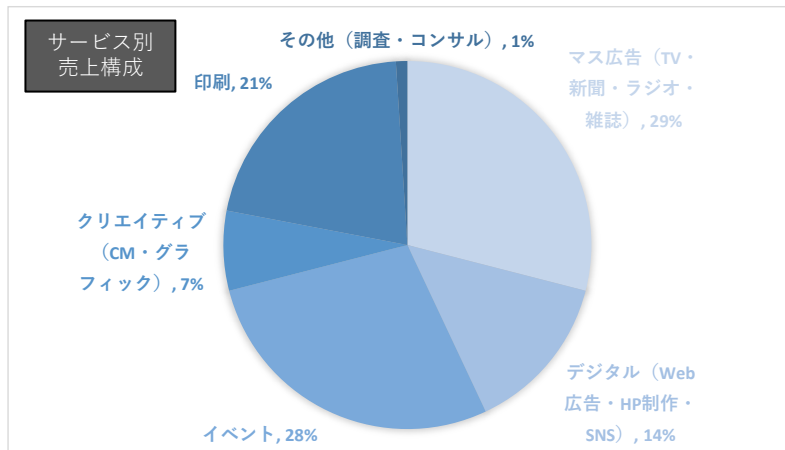


日本エージェンシーについて

(株)日本エージェンシーはマーケティングとクリエイティブを得意とする総合広告会社です。東京・金沢・富山・福井に拠点があり、幅広い業種のクライアント様との取引実績がございます。



社名	株式会社日本エージェンシー
代表者	代表取締役社長 竹内 拓也
所在地	【本社】石川県金沢市新保本4-40 【東京営業本部】東京都中央区築地3-2-6 築地東陽ビル3F 【富山支局】富山県富山市黒瀬北町1-10-4 【福井支局】福井県福井市中央3丁目1-5 三谷中央ビル6F
設立	昭和47年10月
資本金	1億5000万円
社員数	57名
関連会社	株式会社アサソーディ・ケイ
加盟団体	ADKパートナーズネットワーク



【取引先業種】

行政機関、地方銀行・信用金庫、組合・団体、住宅・不動産、メーカー（日用品、アパレル・素材・繊維・機械・金属など）、自動車販売、家電量販店、小売専門店、GMS、ドラッグストア、外食チェーン、エネルギー（電力・ガス）、教育（大学・専門学校・学習塾）、旅館・ホテル、レジャー施設、プライダル、葬儀、病院・クリニック、人材派遣、IT・通信・ソフトウェア、フィットネスなど

運営・お問い合わせ



そのコミュニケーションに最適解を。

NIPPON AGENCY

株式会社 日本エージェンシー

石川県金沢市新保本4-40

TEL 076-269-8111 (担当：大崎)

Email: tosaki@nippon-ag.co.jp

参考資料

新規事業展開やDX推進等の人材育成に 「人材開発支援助成金」が活用できます ～「事業展開等リスティング支援コース」のご案内～

人材開発支援助成金は、事業主が雇用する労働者に対して訓練を実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を助成する制度です。「事業展開等リスティング支援コース」では、新たな事業の立ち上げなど事業展開等に伴い必要となる知識および技術を習得させるための訓練を助成の対象にしています。

支給対象

対象者 事業主：雇用保険適用事業所の事業主
労働者：雇用保険被保険者

助成金の詳細
はこちら→



訓練

- ① 訓練時間数が10時間以上であること
- ② OFF-JT（企業の事業活動と区別して行われる訓練）であること
- ③ 職務に関連した訓練で、以下のいずれかに該当する訓練であること

- i. 企業において事業展開を行うにあたり、新たな分野で必要となる専門的な知識および技能の習得をさせるための訓練
- ii. 事業展開は行わないが、事業主において企業内のデジタル・デジタルトランスフォーメーション（DX）化やグリーン・カーボンニュートラル化を進めるにあたり、これに関連する業務に従事させる上で必要となる専門的な知識及び技能の習得をさせるための訓練

注：本コースでは、事業展開などの内容を記載した「事業展開等実施計画」（様式第1～3号）を職業訓練実施計画書と併せて提出する必要があります。取り組み内容を整理し、具体的な記載ができるよう、事前に準備をお願いします。

注：「事業展開」は、訓練開始日から起算して、3年以内に実施する予定のものまたは6か月以内に実施したものである必要があります。

【参考】事業展開の例：新商品や新サービスの開発、製造、提供または販売を開始する 等
デジタル・DX化の例：ITツールの活用や電子契約システムを導入し、社内のペーパーレス化を進めた 等
グリーン・カーボンニュートラル化の例：農薬の散布にトラクターを使用していたが、ドローンを導入した 等

助成率・助成額

① 助成率・助成限度額

経費助成率		賃金助成額（1人1時間）		1事業所1年度あたりの助成限度額
中小企業	大企業	中小企業	大企業	
75%	60%	1,000円	500円	1億円

② 受講者1人あたりの経費助成限度額

10時間以上100時間未満		100時間以上200時間未満		200時間以上	
中小企業	大企業	中小企業	大企業	中小企業	大企業
30万円	20万円	40万円	25万円	50万円	30万円

注1：e-ラーニング、通信制、定額制サービスによる訓練は経費助成のみです。

注2：定額制サービスによる訓練の経費助成限度額は、受講者1人1月あたり2万円です。

例)新規事業のための人材育成を行った場合

課題

1年後に先端技術(IoTや画像AI)を活用した安全監視のためのシステムを設計・開発・販売する事業を新たに立ち上げたいが、現在は対応できる人材が足りない。

実施訓練

- 訓練コース
AI技術の基礎および応用
- 訓練内容
AIの基礎知識、機械学習等の訓練
訓練時間：30時間（7.5時間×4日間）
訓練経費：25万円/1人
4人受講する場合：100万円/4人

助成内容・成果

【助成率・額】

経費助成：75%（中小企業）
賃金助成：1時間あたり1,000円（中小企業）

【左記の訓練内容の場合の例】

- 経費
経費助成：75万円（25万円×75%×4人）
賃金助成：12万円（30時間×1,000円×4人）
- 成果
無事に新規事業を立ち上げることができ、新技術を活用した新製品や新サービスの開発、製造等を開始することができた。

助成金受給のための手続きの流れ

Step0

職業能力開発推進者の選任、事業内職業能力開発計画の策定・自社の労働者に対する周知

- 事業内職業能力開発計画に基づき、職業訓練実施計画を作成する
- 作成した必要書類を訓練開始日の6か月前から1か月前までの間に管轄労働局に提出する

■主な提出書類

所定の様式 (最寄りの労働局へ)	<ul style="list-style-type: none"> ・職業訓練実施計画書 ・事業展開等実施計画 ・対象労働者一覧 など
添付書類	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練内容を確認できるカリキュラム など

Step2 訓練実施

- 職業訓練実施計画に基づき訓練を実施する
- 支給申請までに、訓練にかかった経費全額を支払う

Step3 支給申請 (最寄りの労働局へ)

- 訓練終了日の翌日から2か月以内に、必要書類を管轄労働局に申請する

■主な提出書類

所定の様式	<ul style="list-style-type: none"> ・支給申請書、賃金助成の内訳等助成額を算定した書類 ・OFF-JT実施状況報告書 など
添付書類	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練期間中の労働条件がわかるもの（雇用契約書の写しなど） ・事業主が訓練費用を負担したことを確認できる振込通知書 ・出勤簿、タイムカード、賃金台帳の写し など

【各都道府県労働局の助成金申請窓口】

■URL https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyo/kyufukin/toiawase2.html

■スマホはこちら→

